

芝生適用登録除草剤
(主要吸収移行型・ホルモン型・接触型)

2025.8.6(25-2)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名		グリーンアーザラン液剤	ザイトロンアミン液剤	MCPP液剤	トリメックF液剤	プラスコンM液剤	ワンサイドP乳剤
一般名		アシュラム	トリクロピルトリエチルアンモニウム	メコプロップ	2.4PA	MCPAイソプロピルアミン塩	フルアジホップP
有効成分含有量		37%	44%	50%	26% 12% 2.5%	40%	17.5%
メーカー	(原体)	バイエルクロップサイエンス	コルテバ	バイエルクロップサイエンス	バイエルクロップサイエンス、シンジェンタ、石原産業、日産化学	日産化学	石原産業
	(登録)	UPLジャパン	コルテバ、日産化学、石原産業	ニューファーム、ホクサン、丸和バイオ、理研グリーン	日本農業、東洋グリーン	日産化学	石原産業
試験名			DOWCO-233	NC-102	TG-72	NC-341	SL-236L乳剤
登録年月日		平成22年8月25日	昭和56年8月5日	昭和57年4月1日・昭和57年12月24日・平成22年5月12日	昭和62年10月2日	平成9年3月24日	平成10年12月22日
登録番号		22788	14673～14676	15018・15020・15339・22691	16861・16862	19569	20123
登録上	作物名	日本芝	日本芝(コウライ・バシバ)	日本芝、西洋芝(ブルー)	日本芝	日本芝、西洋芝(フェスタ・ブルー・ライ)	日本芝
	雑草	一年生雑草、多年生イネ科雑草*	一年生広葉雑草及び、クローバー、チドメグサ等の多年性広葉雑草	クローバー及び畑地一年生広葉雑草	一年生広葉雑草	広葉雑草、チドメグサ	ペントグラス
	使用時期	秋～春期(芝発芽前)、芝生育期(雑草生育初期)、春夏期芝生育期(雑草生育期)*	雑草生育期	雑草生育期	雑草生育期	雑草生育初期(芝生育期)	雑草生育期(芝休眠期)
	薬量	0.4～1.25ml/㎡、0.8～1ml/㎡*	0.2～0.6ml/㎡	0.5～1ml/㎡	0.4～0.8ml/㎡	0.5～1.5ml/㎡	0.15ml/㎡
	水量	0.2～0.3L/㎡	0.15～0.2L/㎡	0.1～0.2L/㎡	0.1～0.15L/㎡	0.2L/㎡	0.1～0.15L/㎡
	使用方法	散布(茎葉土壌処理)	雑草茎葉散布	全面茎葉散布	雑草茎葉散布	雑草茎葉散布	雑草茎葉散布
急性経口毒性LD50(mg/kg)		普:マウス・ラット>12,500	普:ラット1,530	普:ラット♂1,931・♀1,476	普:ラット1,744	普:ラット♂994・♀1,076	普:ラット2,451～3,680
魚毒性TLm(ppm)		ニジマス>5,000	コイ>40	A:コイ240	コイ328(LC50)	A:コイ1,000以上	B:コイ3.5(48h)、ニジマス1.7(原体)(48h)
水溶解度		590	430	699(20℃)		易溶	1(20℃)(原体)
半減期		約10日	15～30日	約2日		約5日(圃場)	
雑草スペクトラム		イネ科・広葉	広葉全般	一年生広葉	イネ科、一年生	一年生、多年生広葉	ペントグラス
樹木等への影響		一部樹種影響大	ドリフト注意	ドリフト注意		ドリフトに注意	ハイビシヤクシン類への飛散注意
洋芝への影響		影響大	温度により影響あり	ブルーグラス登録有	ペントグラス・バミューダグラスには薬害有り	温度による影響有り	微量でも薬害有り
作用機作		成長部位の破壊	生体内のバランスを攪乱	生体内のオーキシンのバランスを攪乱		生体内のオーキシンのバランスを攪乱	脂資の生合阻害
効果	発現	7～14日				1～2日	遅効性
	完成	35～60日				3～4週間	20日程度
	残効						無し
	芝安全性	良				高温注意	芝の生育期に散布すると薬害あり
流通		石原バイオ	日産化学、石原、丸和	理研、丸和バイオケミカル、ホクサン、エンバイロサイエンス	東洋グリーン、ニチノー緑化	日産化学	石原バイオサイエンス
包装		5L×4、1L×12	1L×10	5L×4、500ml×20	10L×2、500ml×20	2L×6	500ml×20
A価¥/kg.L		3,800	10,150	2,970	4,500	2,930	10,032
¥/㎡		1.5～4.8	2～6.1	1.5～3	1.8～3.6	1.5～4.4	1.5
備考							水源地・養殖池等に飛散・流出しない様十分注意する。第4類第2石油類

芝生適用登録除草剤
(主要吸収移行型・ホルモン型・接触型)

2025.8.6(25-2)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]		インプールDF	ブロードスマッシュSC	グラッチェ顆粒水和剤	ダブルアップDG	フルスロット顆粒水和剤	モニュメント顆粒水和剤
一般名		ハロスルフロンメチル	フロラスラム	エトキシスルフロン	シクロスルファミロン	ペンフレセート	トリフロキシスルフロンナトリウム塩
有効成分含有量		75%	4.5%	60%	66%	30%	75%
メーカー	(原体)	日産化学	コルテバ	バイエルクロップサイエンス	BASF	日本曹達	シンジェンタ
	(登録)	日産化学	コルテバ	エンバイロサイエンス、三井化学クロップ&ライフソリューション、日本曹達	BASF	日本曹達	シンジェンタ
試験名			DEH-115ゾル	HAS-953	AC-414		NOJ-120
登録年月日		平成11年2月8日	平成12年1月13日	平成12年6月29日・平成21年11月18日	平成14年2月1日	平成18年10月4日	平成19年4月11日
登録番号		20153	20315	20393・22519	20766	21802	21948
登録上	作物名	日本芝*、西洋芝(ヘント・ブルー)**	日本芝、西洋芝(ブルー)	日本芝(コウライ)、西洋芝(ブルー・ヘント)	日本芝、西洋芝(ブルー・ライ)	西洋芝(ヘント*・ブルー**)	日本芝、西洋芝(ハーミューダグラス)
	雑草	広葉雑草***、ヒメクグ*、ハマスゲ*	一年生広葉雑草、多年生広葉雑草	一年生及び多年生広葉雑草、ヒメクグ、ハマスゲ	一年生広葉雑草	スズメノカタビラ***、一年生イネ科雑草*、メヒシバ*	一年生雑草、ヒメクグ、スズメノヒエ類、チガヤ
	使用時期	芝生育初期～生育期(雑草発生前～生育初期)、ヒメクグ:芝生育初期～生育期(雑草発生前～生育期)	日本芝・西洋芝:芝生育期(雑草生育初期) 秋～冬期(雑草生育初期)	春・秋期雑草発生前(芝生育期)、雑草生育初期(3葉期まで)	芝生育期(雑草発生前～生育初期)	春夏期雑草発生初期～3葉期***、秋・冬期雑草発生初期～3葉期*	雑草発生初期～生育期(チガヤ:出穂前まで)
	薬量	0.03～0.05g/㎡	0.02～0.04ml/㎡(一年生広葉)、0.04～0.08ml/㎡(多年生広葉)	0.015-0.03g/㎡(日本芝:一年生広葉)雑草発生前、0.03-0.06g/㎡(日本芝・西洋芝:一年生、多年生広葉)雑草発生初期、3葉で0.045-0.075g/㎡(日本芝・西洋芝:ヒメクグ、ハマスゲ)生育期、3葉まで	0.03～0.06g/㎡	0.2～0.3g/㎡***、0.1～0.2g/㎡*、0.15～0.3g/㎡(メヒシバ)	0.003～0.006g/㎡
	水量	0.2～0.3L/㎡	0.15～0.2L/㎡	0.2～0.3L/㎡	0.2～0.25L/㎡	0.1～0.2L/㎡	0.15～0.25L/㎡
	使用方法	茎葉兼土壌	雑草茎葉散布	散布	全面土壌散布	雑草茎葉散布	雑草茎葉散布又は全面土壌処理
急性経口毒性LD50 (mg/kg)		普:ラット10,000以上(原体)	普:ラット>5,000	普:ラット♀2,910	普:ラット5,000以上	普:ラット♀>2,000	普:ラット・マウス♂♀>5,000
魚毒性TLM (ppm)		A:コイ100以上(原体)	コイ>1,000	コイ572(48h)	A:コイ100(製剤)	A:コイ35.00	コイ>113.5(96h)
水溶解度		36	0.084(pH5)～94.2(pH9)(原体)	135.3(pH7)	0.34(20℃)	0.261	25,700(25℃、pH7.4)
半減期		7～30日	4～19日		7～18日	約11～24日	
雑草スペクトラム		広葉、ヒメクグ、ハマスゲ	一年生・多年生広葉	広葉、カヤツリグサ	広葉全般	スズメノカタビラ、一年生イネ科、メヒシバ	イネ科、広葉、カヤツリグサ科
樹木等への影響		ドリフト注意	ドリフト注意	ドリフト注意	安全性大	ドリフトに注意	ドリフト注意
洋芝への影響		ライグラス以外は安全	安全性高い	安全性高い	薬害無し	芝の状態により薬害発生する場合有り	寒地型西洋芝に強い薬害有り
作用機作		アセトラケート合成酵素阻害、茎葉・根部吸収	アセトラケート合成酵素阻害、茎葉・根部吸収	アセトラケート合成酵素阻害	アセトクロキシ酸合成酵素阻害、茎葉・根部吸収	脂質の合成阻害による生育点での細胞分裂阻害	アセトラケート合成酵素阻害
効果	発現	5～7日	1～2日	5～7日	1～2週間	7～14日	10～20日
	完成	遅効性15～20日	秋処理4～6週間(春処理で2～3週間)	10～14日	3～4週間	1ヶ月	30～60日
	残効	1～1.5ヶ月		2～3ヶ月	100～200日		60日以上(春)、120日以上(秋)
	芝安全性	日本芝は安全	大	安全性大	安全性大	時期・芝の状態により薬害発生の可能性有り	日本芝は安全性大
流通		日産化学	丸和バイオケミカル	エムシー緑化、ニッソーグリーン	BASF	ニッソーグリーン	シンジェンタ特約店
包装		200g×5	250ml×12	100g×6	225g×6	100g×10	7.5g×12
A価¥/kg・L		80,000	45,080	126,500	63,555	135,000	1,144,000
¥/㎡		2.4～4	0.9～3.6	1.9～9.5	1.9～3.8	13.5～40.5	3.4～6.9
備考							スルホニルウレア系

**芝生適用登録除草剤
(主要吸収移行型・ホルモン型・接触型)**

2025.8.6(25-2)
ゴルフ場防除技術研究会

【登録順】		商品名	デスティニーWDG	シバゲンDF	スコリテック液剤	一本締液剤	ハーレイDF	芝用エコバートFL
一般名			ヨードスルフロンメチルナトリウム塩	フラザスルフロン	メコプロップPカリウム塩	メコプロップPカリウム塩	リムスルフロン	ピラフルフェンエチル
有効成分含有量			10%	25%	56.5%	56.5%	25%	2%
メーカー	(原体)		バイエルクロップサイエンス	石原産業	ニューファーム	日本曹達	デュボン	日本農業
	(登録)		エンバイロサイエンス	石原バイオサイエンス	ニューファーム	日本曹達	丸和バイオケミカル	ニチノー緑化
試験名			AEH-002		NP-63	NP-63	DPX-E9636	NHK-061
登録年月日			平成19年4月18日	平成20年4月23日	平成20年5月28日	平成20年5月28日	平成20年8月27日	平成20年11月19日
登録番号			21952	22150	22168	22169	22231	22300
登録上	作物名		日本芝	日本芝、西洋芝(バーミュダグラス)、センチビードグラス	日本芝、西洋芝(ブルー)	日本芝、西洋芝(ブルー)*	日本芝	日本芝(コウライ)、西洋芝(ベントグラス)
	雑草		一年生及び多年生広葉雑草	一年生及び多年生広葉雑草、ヒメクグ、ハマスゲ、スズメノヒエ	一年生及び多年生広葉雑草	一年生及び多年生広葉雑草	一年生雑草	一年生及び多年生広葉雑草、一年生イネ科雑草、苔類
	使用時期		雑草発生前～発生初期	雑草発生初期、秋冬期雑草発生前、センチビードグラス生育期	芝生育期(雑草生育期)	芝生育期(雑草生育期)、春夏期雑草生育期*	雑草発生揃期～生育初期	日本芝・芝休眠期(雑草生育初期)、ベントグラス・春夏秋期芝生育期(雑草生育初期)、春夏期芝生育期(苔類生育期)
	薬量		0.015～0.02g/㎡	0.01～0.04g/㎡	0.25～0.5ml/㎡	0.25～0.5ml/㎡、0.2～0.5ml/㎡*	0.005～0.015g/㎡	0.1～0.2ml/㎡(一年生広葉)、0.4～0.6ml/㎡(多年生広葉、一年生イネ科)、0.2～0.6ml/㎡(苔類)
	水量		0.2～0.3L/㎡	0.1～0.3L/㎡	0.2L/㎡	0.2L/㎡	0.15～0.2L/㎡	0.1～0.2L/㎡
	使用方法		全面土壌散布	散布	雑草茎葉散布	雑草茎葉散布	雑草茎葉散布	雑草茎葉散布
急性経口毒性LD50 (mg/kg)			普:ラット>5,000	普:ラット♂4,694・♀4,908(製剤)	普:ラット♂♀500～2,000	普:ラットLD50・♂♀500～2,000	普:ラット>5,000	普:ラット♂♀>5,000
魚毒性TLm (ppm)			A:コイ117(LC50)	コイ>400(LC50)(製剤)(96h)、オモシノコ11.6(EC50)(48h)	A:コイ1,000以上(LC)(製剤)(96h)	A:コイ1,000以上(LC)(製剤)(96h)	A:コイ>100(96h)	A:コイ>500(LC50)(96h)
水溶解度			0.16(20℃)	2.1mg/ml(pH7、25℃)(純品)	860(20℃)	860(20℃)	23.5(20℃)	0.05(25℃)
半減期				5～7日(原体)	2～3.5日	2～3.5日	10～27日(圃場)	
雑草スペクトラム			一年生広葉	一年生雑草から多年生広葉雑草、及びハマスゲ、ヒメクグなどの多年生カヤツリグサ科など	一年生、多年生広葉	一年生、多年生広葉	スズメノヒエ他	広葉雑草全般、一年生イネ科、苔類
樹木等への影響			ドリフトでは影響小	ドリフト注意	影響有り、ドリフト注意	影響有り、ドリフト注意	ドリフト注意(薬害は基本的になし)	ドリフト注意
洋芝への影響			影響小(ライグラス注意)	薬害強	ブルーグラス選択性有	ブルーグラス選択性有	薬害強	ベントには安全性高い、バーミュダには薬害有り
作用機作			アセトラクテート合成酵素阻害	茎葉、根部から吸収されALS阻害により殺草	生体内のオーキシンのバランスを攪乱	生体内のオーキシンのバランスを攪乱	アセトラクテート合成酵素阻害・茎葉・根部・土壌	プロトックス阻害
効果	発現		1～2週間	遅効性(効果発現には1週間程度)	1～2日	1～2日	7日前後	1～3日
	完成		3～4週間	春夏期で20～30日、秋冬期で30～40日要する	1～2週間	1～2週間	遅効性・20～40日	1週間
	残効		120日以上	標準薬量で春夏期で40日程度、秋冬期で120日程度	30～60日	30～60日		
	芝安全性		安全性高い	日本芝に対して安全性は高いが、萌芽期には薬害を生じるので注意する	安全性大	安全性大	安全性大(日本芝)	生育期の日本芝・バーミュダに薬害有り
流通			エンバイロサイエンス	石原バイオサイエンス	理研グリーン	ニッソーグリーン	丸和バイオケミカル	ニチノー緑化
包装			100g×6	20g×15、100g×3	1L×10	1L×10	10g×10	500ml×4
A価¥/kg.L			131,750	185,000	6,850	6,893	480,000	15,000
¥/㎡			2～2.6	1.9～7.4	1.7～3.4	1.4～3.4	2.4～7.2	1.5～9
備考			ベレニアルライグラスに影響大:散布注意					

**芝生適用登録除草剤
(主要吸収移行型・ホルモン型・接触型)**

2025.8.6(25-2)
ゴルフ場防除技術研究会

【登録順】		商品名	アトラクティブ	アグリーン顆粒水和剤	ブロードケア顆粒水和剤	サーベルDF	ユニホップ	トリビュートOD
一般名			クロリムロンエチル	ピラゾスルフロンエチル	フルセツスルフロン	メツスルフロンメチル	メタミホップ	ホラムスルフロン
有効成分含有量			25%	70%	50%	60%	10%	2.2%
メーカー	(原体)		デュボン	日産化学	エス・ディー・エス	FMC	東部韓農、住商アグロ	バイエルクロップサイエンス
	(登録)		デュボン、丸和バイオケミカル	日産化学	エス・ディー・エス	FMC、丸和バイオケミカル	丸和バイオケミカル	エンバイロサイエンス
試験名			DPX-F6025	NC-625	LNS-001	DPX-T76	SAH-001	BEH-447
登録年月日			平成21年2月18日	平成21年3月18日	平成21年6月4日	平成21年12月2日・平成30年6月27日	平成23年4月4日	平成23年4月7日
登録番号			22342・22343	22358	22387	22529・24092	22914	22918
登録上	作物名		日本芝	日本芝、西洋芝(ベントグラス)	日本芝、日本芝(コウライシハ)、西洋芝(ベント・バーミュータ・ケンタッキー・ブルー)	日本芝、西洋芝(ペレニアル・ブルー)	日本芝、西洋芝(ベント・ブルー・ライ)	日本芝*、西洋芝(バーミュータ・グラス)**
	雑草		一年生及び多年生広葉雑草	一年生及び多年生広葉雑草、ヒメクグ、ハマスゲ*	日本芝・西洋芝・一年生及び多年生広葉雑草、日本芝(コウライシハ)・ヒメクグ、ハマスゲ、一年生イネ科雑草	一年生及び多年生広葉雑草	一年生イネ科雑草(コウライ)、メヒシバ(ベント・ブルー・ライ)	一年生雑草、多年生広葉雑草*・**、スズメノヒエ類・チガヤ*
	使用時期		雑草発生前～生育期	雑草生育期、春夏期雑草生育期*、秋冬期雑草生育期(西洋芝)	ヒメクグ・ハマスゲ:芝生育期(雑草発生初期)、イネ科:春夏期芝生育期(雑草発生初期)、広葉:芝生育期(雑草発生前～発生初期)・芝生育期(雑草発生初期)・春夏期芝生育期(雑草発生初期)	春夏期芝生育期雑草発生始期～生育初期・秋冬期雑草発生始期～生育初期(日本芝)、秋冬期雑草発生始期(西洋芝)	春夏期(芝生育期、雑草生育期)	春夏期芝生育期(雑草発生初期～生育期)、秋冬期芝生育期(雑草発生初期～生育期)、スズメノヒエ類・チガヤ:芝生育期(雑草生育期)
	薬量		0.02～0.04g/㎡	0.02～0.03g/㎡	0.03～0.06g/㎡	0.001～0.002g/㎡(日本芝春夏期)、0.002～0.004g/㎡(日本芝秋冬期)、0.001～0.002g/㎡(ペレニアルライ・ブルー)	0.1～0.3ml/㎡	春夏0.2～0.25ml/㎡、秋冬0.15～0.25ml/㎡、スズメノヒエ類・チガヤ0.2～0.3ml/㎡
	水量		0.2L/㎡	0.15～0.3L/㎡	0.1～0.2L/㎡	0.15～0.2L/㎡	0.1～0.2L/㎡	0.1～0.2L/㎡
	使用方法		雑草茎葉散布又は全面土壌散布	散布	散布	雑草茎葉散布	雑草茎葉散布	雑草茎葉散布又は全面散布
急性経口毒性LD50 (mg/kg)			普:ラット5,000以上	普:ラット>2,000	普:ラット♀>5,000	普:ラット>5,000	ラット♀>2,000	普:ラット♀>2,000
魚毒性TLm (ppm)			コイ1,000以上(96h)	コイ>20(96h)	A:コイ199(LC50)	A:コイ>1,000(96h)	B:コイ3.38(96h)	A:コイ26.8(96h)
水溶解度			8.55(20℃CPH5.29)	9.76(20℃)	114	75.6	6.87	37.2mg/L
半減期				5～7日		17日(火山灰砂壌土)、7日(沖積埴土)		
雑草スペクトラム			広葉雑草	一年生及び多年生広葉雑草、ヒメクグ、ハマスゲ	広葉全般	イネ科、カヤツリグサ科除く広葉全般	一年生イネ科	スズメノカタビラ、ナデシコ科等
樹木等への影響			ドリフト注意	ドリフト注意	安全性高い	なし	安全性大	直接散布でなければ問題なし
洋芝への影響			影響小(直接散布しない)	なし	影響小(ライグラス注意)	暖地においては種類によって薬害有	薬害なし	ベントグリーン回りの散布はしない
作用機作			アセトラクテート合成酵素阻害	ALS阻害(スルホニルウレア)	アセトラクテート合成酵素阻害、茎葉・根部吸収	アセトラクテート合成酵素阻害、茎葉・根部吸収	脂肪酸合成阻害	ALS阻害剤
効果	発現		1週間程度	5～7日	1～2週間	3週間	5日～7日程度	SU剤としては早い
	完成		3～4週間	遅効性20～30日	3～4週間	1.5ヶ月	10日～14日程度	SU剤としては早い
	残効		120日～200日			1ヶ月		土壌残効は短い
	芝安全性		安全性大(日本芝)	安全性大	安全性高い		日本芝及び西洋芝に安全(ティフトンを除く)	日本芝には安全だが、高温時に黄化の場合あり
流通			丸和バイオケミカル	シンジェンタ特約店	エス・ディー・エス	丸和バイオケミカル	丸和バイオケミカル	エンバイロサイエンス、理研グリーン
包装			150g×6	50g×20	150g×10	10g×10	500ml×2	1L×6
A価¥/kg.L			85,400	132,000	105,000	1,200,000	105,000	14,200
¥/㎡			1.7～3.4	2.6～4	3.2～6.3	1.2～4.8	10.5～31.5	2.1～4.3
備考						SU剤	ティフトンに対して影響あり	危険物:第4類第3石油類

芝生適用登録除草剤
(主要吸収移行型・ホルモン型・接触型)

2025.8.6(25-2)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名		アシュラスター液剤	バサグランターフ	ティアラフロアブル	エンドタールK液剤	アミカル顆粒水和剤	シバキープセイバー
一般名		アシュラム	ペンタゾン(ナトリウム塩)	フルフェナセット	エンドタールニカリウム塩	アミカルパゾン	イマゾスルフロン
		MDBAカリウム塩					
有効成分含有量		30% 3.3%	44%	42.4%	2.11%	70%	40%
メーカー	(原体)	シンジェンタ、保土谷UPL	BASF	バイエルクロップサイエンス	ユービーエル	アリスタ	住友化学
	(登録)	シンジェンタ、保土谷UPL、UPLジャパン	BASF	エンバイロサイエンス	三井化学クロップ&ライフソリューション	エス・ディー・エス	レインボー薬品
試験名		SYJ-229	BAH-1004	BEH-1301	SW-989(L)	SB-208	TH-913H4
登録年月日		平成24年5月16日	平成25年12月18日	平成27年11月25日	平成29年11月20日	平成28年11月14日	令和1年7月10日
登録番号		23081・23082・23083	23400	23750	23994	23852	24243
登録上	作物名	日本芝	日本芝	日本芝	日本芝(コウライ)、西洋芝(ブルー・ベント)	日本芝、西洋芝(ハーミューダグラス)	日本芝、日本芝(コウライ)、西洋芝(ブルー・ベント)
	雑草	一年生雑草雑草	一年生雑草(イネ科を除く)、ヒメクグ	一年生雑草	スズメノカタビラ	一年生及び多年生広葉雑草	日本芝:一年生及び多年生広葉雑草・一年生広葉雑草・ヒメクグ、コウライ:多年生広葉雑草、西洋芝(ブルー):一年生広葉雑草・ヒメクグ、西洋芝(ベント):一年生広葉雑草・ヒメクグ・コケ類
	使用時期	秋～春期(雑草発生初期)*、雑草発生初期	春夏期雑草生育期(芝生育期)	秋冬期芝生育期(雑草発生初期)	雑草生育期(コウライ:芝休眠期、ブルー:芝生育期、ベント:春夏期芝生育期)	芝生育期(雑草発生初期)、春夏期芝生育期(雑草発生初期)(西洋芝)	芝生育期(雑草発生前)(一年生及び多年生広葉)、芝生育期(雑草発生初期)、春夏期芝生育期(コケ類発生初期)
	薬量	0.75～1.5ml/㎡*、0.45～0.75ml/㎡	0.5～1ml/㎡	0.15～0.3ml/㎡	8～12ml/㎡(コウライ)、2～6ml/㎡(ブルー)、1～2ml/㎡(ベント)	0.03～0.05g/㎡	0.2～0.4ml/㎡、0.2ml/㎡(西洋芝)
	水量	0.2～0.3L/㎡	0.1～0.2L/㎡	0.1～0.3L/㎡	0.1～0.2L/㎡	0.1～0.2L/㎡	0.2～0.3L/㎡
	使用方法	雑草茎葉散布又は全面土壌散布	雑草茎葉散布	雑草茎葉散布又は全面土壌散布	雑草茎葉散布	散布	全面土壌処理(雑草発生前)、雑草茎葉散布又は全面処理
急性経口毒性LD50 (mg/kg)		普:ラット♀>2,000	普:>1,000	普:ラット500～1,000	普:ラット♂3,539	普:ラット2,000>	普:ラット2,715
魚毒性TLm (ppm)		コイ>1,000(96h)	コイ>110(LC50)(96h)	コイ43.5(96h)	コイLC50>1,000(96h)	コイLC50:509(96h)	コイ>50
水溶解度		6g/L(MDBA)、590g/L(アシュラム)	570mg/L(20℃)	56mg/L	>650g/L(25度)	4.6g/L(20℃)	155.6mg/L(20℃)
半減期			7～14日		2～10日(圃場)※エンドタール酸として		約1日
雑草スペクトラム		一年生イネ科雑草から広葉雑草まで	一年生雑草(イネ科を除く)、ヒメクグ	一年生雑草	スズメノカタビラ及び一年生雑草	一年生及び多年生広葉雑草	広葉雑草全般
樹木等への影響		直接薬液がかかると影響あり特にフジは注意	ドリフト注意		ドリフトに注意	ドリフトに注意	ドリフト注意
洋芝への影響		あり	使用しない	使用しない	一過性の葉焼けが生じる場合がある		ライグラスに薬害の可能性あり
作用機作		オーキシン作用の攪乱、葉酸の生合成阻害による核酸合成の低下	光合成阻害型	超長鎖脂肪酸生合成阻害	細胞分裂阻害	光合成阻害	ALS阻害
効果	発現	10～20日	2～3日	遅効性	2～3日	1～2週間	1週間程度
	完成	30～60日	1～2週間	30～60日	1週間	3～4週間	2週間程度
	残効				短い	90日程度	2か月以上
	芝安全性	高温期の散布は黄化することがある	高温時注意	十分に活着した日本芝に使用する	一過性の葉焼けが生じる場合がある		安全性大
流通		シンジェンタ特約店	BASF、丸和バイオ	エンバイロサイエンス	エムシー緑化	東洋グリーン	レインボー薬品
包装		1L×12	1L×12	1L×6	2L×6	250g×8	500ml×8
A価¥/kg.L		4,250	5,100	9,435	4,485	51,240	14,660
¥/㎡		1.9～6.4	2.6～5.1	1.4～2.8	4.5～53.8	1.5～2.6	2.9～5.9
備考							

芝生適用登録除草剤
(主要吸収移行型・ホルモン型・接触型)

2025.8.6(25-2)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]		
商品名	アップデート	トリトンSC
一般名	イマザキン	フェンキノトリオン
有効成分含有量	19%	18.5%
メーカー	(原体)	アグロカネショウ
	(登録)	アグロカネショウ
試験名		RGH-1601SC
登録年月日	令和4年4月20日	令和5年11月8日
登録番号	24627	24798
登録上	作物名	日本芝
	雑草	一年生雑草、ヒメクグ、ハマスゲ
	使用時期	一年生雑草・ヒメクグ:芝生育期(雑草生育期)、ハマスゲ:春夏期芝生育期(雑草生育期)
	薬量	0.2~0.4ml/m ² (一年生雑草)、0.3~0.5ml/m ² (ヒメクグ・ハマスゲ)
	水量	0.25L/m ²
	使用方法	雑草茎葉散布
急性経口毒性LD50(mg/kg)	普:ラット>5,000	普:ラット♀>2,000
魚毒性TLm(ppm)	コイ>750(96h)	コイ>107(96h)
水溶解度	58.3mg/L(イマザキン)	17.3mg/L(20℃、純水)
半減期	20日(火山灰・埴壤土)16日(洪積・砂壤土)	
雑草スペクトラム	広葉、ヒメクグ、ハマスゲ	ヒメクグ、一年生広葉雑草
樹木等への影響	影響小	影響有り、ドリフト注意
洋芝への影響	影響あり	安全性高い
作用機作	ALS阻害	4-HPPD阻害
効果	発現	2週間程度
	完成	4週間~6週間
	残効	
	芝安全性	高温時の散布は薬量により黄化することがある
流通	アグロカネショウ	理研グリーン
包装	1L×10	500ml×2
A価¥/kg.L	8,500	70,000
¥/m ²	1.7~4.3	7~14
備考		コウライグリーンでの散布、UVカット資材との近接散布はなるべく避ける